

グリム童話と日本昔話

—昔話・東西一致の謎—



グリム兄弟 切手

わが国に口承文芸学を樹立した柳田国男が強い関心を抱いたテーマは、昔話の東西一致でした。日本では桃太郎に代表される果実からの誕生や、古くは『古事記』にも見られる魔女や鬼婆から逃げる姿を記す「呪的逃走」など、多くのモチーフが世界的な分布を見せています。遠く離れた国の昔話が類似しているのは何故なのでしょう？本講座では、柳田のグリム研究を出発点に、昔話の東西一致の謎について成城大学名誉教授の高木昌史氏に話していただくとともに、私たちが昔話を学ぶ意味や、昔話を読む醍醐味について考えます。

講師 高木 昌史（成城大学名誉教授）

1944年、旧満州国鞍山生まれ。1975年、東京都立大学大学院博士課程（独文学専攻）修了。國學院大学文学部専任講師、助教授、教授を経て、2001年、成城大学文芸学部教授、2015年、定年退職。現在、成城大学名誉教授。著書に、『グリム童話を読む事典』（三交社、2002年）、『柳田国男とヨーロッパ』編著（同、2006年）、『グリム童話と日本昔話』（三弥井書店、2015年）等。他、西洋文学、口承文芸、美術批評に関する翻訳書がある。

開催概要

- 日時：2016年7月24日（日）14:00～15:30（13:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。